

「東京 2020 とその先の未来へ」

開催の目的

日本障がい者スポーツ協会(以下 JPSA という)では 2013 年に「障がい者スポーツの将来像 (ビジョン)」を発表しました。そのめざすところは、障がいの有無に関わらず、すべての人が共生できる社会を実現させることです。ビジョン実現のため、普及、強化の両面をバランスよく拡大させるとともに、それらを好循環させるためのアクションプランを策定しました。昨今の障がい者スポーツを取り巻く環境の変化にとまなない、社会の障がい者スポーツへの関心も高まりつつあります。このような追い風を活かし、東京大会を成功させ、その成功を一過性のもので終わらせるのではなく、ビジョン実現へとつないでいくことが重要です。そのためには、オールジャパン体制での協力が不可欠です。

◆第 1 部

鈴木大地スポーツ庁長官より基調講演をいただいた後、「障がい者スポーツの将来像 (ビジョン)」の実現のため策定したアクションプランの進捗状況を JPSA 各部から報告します。現状や今後の取り組みについて参加者との共有をはかります。

◆第 2 部

協会、競技団体、指導者、選手、それぞれの立場のパネラーに登壇していただき、東京 2020 パラリンピックの成功はもとより、2021 年以降のさらなる発展のために何をすべきかをディスカッションします。地域における関係者間の連携・協働の重要性と、「普及」と「強化」の取り組みを連動させながら取り組むことが重要性を議論します。

◆日程 平成 28 年 3 月 4 日 (金) 10:00~12:20

◆入場料無料

◆事前予約不要

◆会場 ヒルトン東京お台場・オリオン(旧 ホテル日航東京)

★スケジュール

第 1 部

10:00~10:20

基調講演「障害者スポーツの振興について」 鈴木 大地 スポーツ庁 長官

10:30~11:20

ビジョン実現に向けた JPSA の取り組み

冒頭挨拶	山田 登志夫	日本障がい者スポーツ協会 常務理事
JPSA の取り組み発表 1	長谷部 貴	強化部 強化支援課 課長代理
JPSA の取り組み発表 2	滝澤 幸孝	スポーツ推進部 スポーツ推進課 課長
JPSA の取り組み発表 3	井田 朋宏	企画情報部 部長

第 2 部

11:20~12:20

パネルディスカッション「2020年とその先の未来へ」

座 長 大槻 洋也 日本パラリンピック委員会 強化委員会 委員長

パネリスト 増子 恵美 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

前田 究 鹿児島県障害者スポーツ指導者協議会

富川 理充 公益財団法人日本トライアスロン連合 パラトライアスロン事務局

鈴木 徹 パラリンピアン(陸上競技・走高跳)